



2012/10/23
12:15~12:45
学生ホール

BIBLIO BATTLE 報告書

2012年10月23日(火)、お昼休みの時間を使って旭川校で初めてとなるビブリオバトルを開催しました。ビブリオバトルは発表者が一人5分間で本を紹介し、その場に集まった聴衆がどの本がもっとも面白そうだったか投票し“チャンプ本”を決めるという、発表者と聴衆が協力してできる企画です。

→[知的書評合戦ビブリオバトル公式ウェブサイト](#)

今回は時間が短いこともあって、発表者は3人だけ、投票・集計の時間もないので拍手の大きさを決めるという変則ルールで行いました。



トップバッターは本間里美さん(英語教育・大学院生)
紹介する本は「[モーパッサン短篇選 \(岩波文庫:赤\(32\)-551-3\)モーパッサン \[著\]/高山鉄男編訳岩波書店](#)」



2番手は新里和也さん(理科教育・大学院生)
紹介する本は「[恋愛とは何か：初めて人を愛する日のために \(角川文庫\) 遠藤周作著 角川書店](#)」



最後が松原優さん(理科教育・学部4年生)
紹介する本は「[フライ, ダディ, フライ \(角川文庫:15559\)金城一紀 \[著\]角川書店](#)」

初めての企画だったにも関わらず、3人ともとても上手に本を紹介してくれました。どの本もとても面白そうで、今度読んでみようと思った人も多かったと思います。聞いている側には5分という時間はとても短く感じました。



チャンプ本は松原優さんが紹介してくれた「フライ, ダディ, フライ (角川文庫:15559)金城一紀 [著]角川書店」に決まりました。



審査委員長の奥山館長から賞品が手渡されます。



2位の本間さんと新里さんにも賞品が授与されました。



聞きにいらして下さっていた八重樫副学長にも講評をいただきました。

優勝した松原さんからコメントをいただきました。

「優勝できるとは思っていなかったので、大変嬉しく思います。選んで下さった方々には感謝いたします。私が今回紹介した本は非常に読みやすい本で、読後感も爽快なものなのでぜひ読んでみて下さい。ありがとうございました。」

アンケート結果

当日、聴衆として参加してくれた方にアンケートに協力いただきました。

1. 本日の企画の前からビブリオバトルについて知っていましたか？

- 1) 前から知っていた 11%
- 2) 耳にしたことはある 0%
- 3) 今回初めて聞いた 78%

2. ビブリオバトルという企画について感想をお尋ねします。

- 1) とても面白いと思う 56%
- 2) なかなか楽しめる 44%
- 3) イマイチ 0%
- 4) つまらない 0%
- 5) その他 0%

その他、感想がありましたらどうぞ！（自由記述欄）

- ・その人がその本にどのような思い入れがあって、どのようなところが面白いと思っているのかわかってとてもよかった。(抜粋)
- ・月1回くらいで開催したら楽しいと思います。(抜粋)
- ・学生が人前で話したりパフォーマンスする良き機会だと思う。(抜粋)
- ・恋愛についてのお話がとても楽しかった。あのような話を人前で堂々と話すのはすごく勇気があることだと思います。でもすごくタメになるお話しでした。ありがとうございます。(抜粋)

3. またビブリオバトルが企画されたら出場したいと思いますか？

- 1) ぜひ出場したい 33%
- 2) ちょっと出てみたいと思う 33%
- 3) 出場はしたくないが聞きには来たい 33%
- 4) 参加するつもりはない 0%

4. 図書館では、利用者である皆さんにもっと本や図書館に親しみを持ってもらおうと、いろいろな企画を行っています。現在館内で学生選書委員会第1弾を展示しています。また来月にはブックカフェを企画しています。

こういった図書館の活動について、あなたの感想や希望を聞かせてください。（自由記述欄）

- ・たくさんの人と本を通して交流できるのはとても楽しい(抜粋)
- ・このような図書館の活動がたくさんあればいいと思う(抜粋)
- ・次回はもっと時間をとってたくさんの方の発表をききたいです(抜粋)
- ・図書館利用や読書を推進する効果的な活動だと思います(抜粋)
- ・面白い活動をしているのだと初めて知った(抜粋)
- ・学生選書委員会のように学生の協力をお願いするのいいと思います(抜粋)
- ・もっとたくさんやってください！
- ・本を読むのが苦手なので、このように書籍を紹介してもらえるととても興味を持つことができます。またやってもらえるとありがたいです。(抜粋)
- ・またやってください！ 出場します！

アンケート結果からも分かるとおり、ビブリオバトルを知っているという学生が少なく、今回はこういったイベントもあるという紹介を兼ねて意義のある企画だったと思います。みなさんが書いてくれたアンケートを読んで、本を紹介するだけでなく、今回のビブリオバトルのように学生同士の交流の場となることも図書館の役割だと改めて感じました。楽しかったというご感想はたいへん励みになります。

今後も楽しいイベントを考えていきます。その時はまたどうぞお付き合いください。